



3回目職域接種用ワクチンの廃棄について

と き 4月25日（月）公表

と ころ 練馬区職員研修所（豊玉北5-27-2）

区では、新型コロナワクチンの3回目職域接種を4月20日（水）から実施しています。これに先立って初回に納品されたワクチン（武田／モデルナ社製・60バイアル（900回分））について、ワクチン保管用冷凍庫の温度管理を適切に行えなかったことから廃棄することとしました。

貴重なワクチンを廃棄せざるを得ない事態に至り、深くお詫び申し上げますとともに、改めて管理を徹底し、再発防止に努めてまいります。

【概要】

武田／モデルナ社製ワクチンは、専用の冷凍庫内で $-20^{\circ}\text{C} \pm 5^{\circ}\text{C}$ で保管する必要があり、庫内温度を計測する機器（温度センサー）で温度管理を行っている。

ワクチン納品時、温度センサーの設置位置の過誤を職員が見落とし、4月6日（水）午後3時39分から午後6時59分までの3時間20分間にわたり、庫内温度を正確に計測できない状態が続いた。このため、ワクチンを適切に管理していたことを証明できず安全性を担保できないこととなったため、廃棄することとした。

【経緯】

4月6日（水）午後3時35分頃～午後6時56分

- ① 職域接種用ワクチンを配送業者が納品（3:35頃）
- ② 職員が冷凍庫の蓋を閉めた際、庫内の温度を計測する温度センサーの位置の確認を失念
- ③ 冷凍庫内の温度ログが上昇（最高 9.7°C 、3:39～6:54）
- ④ 温度センサーが納品時に庫内から外れて内蓋の上に置かれていたことが判明。センサーを適切な位置に戻した（6:56）

【再発防止策】

機器の操作方法についてマニュアルを徹底するとともに、一連の温度管理作業を複数の職員により確実に実施する。

【公表の方法】

厚生労働省へ報告し、厚生労働省においてもホームページで公表予定

【問合せ】

練馬区 人材育成課 職場環境係

電話 03-3993-3286